

北九州市民の会ニュース

緊急抗議集会に60名参加

集団的自衛権行使容認の閣議決定に怒る



【戦争への道をストップ】

7月2日(水)超緊急の抗議集会が提起され、小倉駅南口デッキには、抗議行動に駆けつけた人と戦争放棄のプラカードが並びました。フェイスブックの呼び掛けで駆けつけた人もおり、小倉の新婦人

と人権連が呼び掛け、北九州市民の会が呼応し、呼び掛け拡散して60名が参加しました。

18:00~19:00 弁士を交代しながら「集団自衛権行使容認の閣議決定」を糾弾！平和憲法をまもれ！の訴え、署名活動、ピラ宣伝をしました。活動の継続を確認し、最後全員で記念撮影しました。



【集団的自衛権行使反対へ結集しましょう】

次は、7月4日(金) さよなら原発金曜行動に結集しましょう。

さよなら原発！金曜行動

100回記念集会

7月4日(金) 17:30~19:30

小倉駅南口2Fデッキ

原発いらない！ 再稼働反対！

さよなら原発北九州連絡会

戸畑区民の会学習・決起集会

6月26日に「戸畑区民学習・決起集会」が行われ、主催者を含め、総勢45人の参加でした。

市政の現状を報告するとともに、安倍暴走政権との関係で来年早々の市長選挙が重要なたたかいとなることなどを議論、「区民の会」再開を確認しました。



【戸畑区民の会学習決起集会の様子】

平和と暮らしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com

門司検疫所視察研修会に取り組んで

6月27日、門司港合同庁舎内にある農水省植物検疫所、動物検疫所と厚労省門司検疫所において「輸入食品の安全性チェックについて」の研修会を開きました。

新婦人県本部主催で県内各地から38名が参加し、安全性チェックの流れについてくわしく説明を聞いたあと質問し懇談しました。動植物の検疫は外国から害虫や病気を持ち込ませないための検査で全量を検査しています。動物については新門司で係留された動物の全量検査をしています。



【検疫所視察研修会の様子】

輸入食品の検査は厚労省の管轄で実際の検疫検査センターは横浜と神戸の2か所しかありません。現在399人の食品衛生監視員によって検査されていますが全量の3%弱しか検査できていません。しかもモニタリング検査で、検査結果が出るまで輸入を認めない検疫検査ではなく、検査結果が出た時は私たちの食卓に輸入食品が届いてしまっている検査です。

また、増え続ける輸入食品に対して食品衛生監視員の増員は25年度からストップしています。このような中、TPP交渉によってさらに輸入食品が増えることになれば、私たちの食の安全はあっという間に脅かされることになります。新婦人では、この実態を広く知らせ、「安全な食料は日本の大地から」と産直運動をおおして日本の農業を守っていきたくと考えています。

今後、港湾労働者の組合とも懇談し食品衛生監視員の増員なども要求できればと思っています。

(新日本婦人の会福岡県本部 三輪幸子)

会場いっぱいの女性パワー！

平和とくらしを守る北九州女性の会総会

7月1日(火)、戸畑生涯学習センター集会室は、集団的自衛権行使容認が閣議決定された直後だっただけに、総会に参加した女性(約50名)の戦いの決意と熱気でいっぱいであった。

坂本先生(北九州市立大学)の「社会福祉から見る北九州の現状と課題」の講演は、北九州市の福祉の現状を具体的な数値をグラフ化した明快なお話で大好評。もう一度、坂本先生講演会を、秋以降に開催することになった。



【講演を行う坂本先生】

総会は、東敦子代表委員の開会挨拶ではじまり、前田由美子事務局長の経過報告と行動提起、各女性団体から4名の決意表明、藤沢加代代表委員の閉会挨拶で閉めた。市長選挙を女性の要求を掲げて戦う意思統一と体勢づくりができた有意義な総会となった。



【総会には約50名の参加者】